

## 児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日： 2022年2月27日

事業所名：個別療育センターあおぞら姫路教室

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価・ご意見	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	環境に配慮し、適切なスペースを確保している。集団療育、個別療育、静養室、自習コーナー等のエリア分けをして目的に応じた利用の仕方が出来ている。	はい67% どちらともいえない19% いいえ3% わからない11% ・個別のスペースもあり十分。・広いです。	人数が同じでも、子供たちの成長に伴い狭く感じる可能性もあるので、もう少しスペースが欲しいとの声もある。物の配置などを工夫し、スペースや動線の確保に努める。また、支援の仕方や送迎ルートを考慮し人数調整をしていく。
	2 職員の適切な配置	法令に従った職員の配置をしている。	はい58% どちらともいえない8% いいえ3% わからない31%	法令に従い基準人員を満たしているが、ご父兄に対し情報提供をしていく。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	ホワイトボードに活動プログラム、その日の個別療育予定者、乗車する車など適切な量で提示している。バリアフリーではないが車いすの利用者にはスタッフを増員して対応している。	はい86% わからない14% ・どのように過ごしているのか、見せてもらえる機会があるとありがたいです。	現状を維持しながら、安全に活動できるように更に努力していく。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎日の清掃、消毒、換気等清潔な環境を心がけている。クールダウンや一人の時間を持ちたい利用者様の為に静養室を設けている。季節感を感じる環境整備をしている。	はい89% わからない11% ・子どもが心地よく利用できています。	現状を維持しながら更なる業務改善に向けて工夫を図っていく。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	毎日のミーティングで前日の振り返りを行いPDCAサイクルに基づいた問題解決と業務改善に努めている。意見を自由に言える職場環境づくりに留意している。	/	現状を維持しながら更なる業務改善に向けて工夫を図っていく。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	実施していない	/	機会があれば検討していく。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	外部研修の他、月一回の内部研修を行っている。定期的に虐待や療育の方針についての研修を行っている。	/	外部団体による研修に参加する予定もある。さらに研修の機会を増やし、職員の資質向上に努めていきたい。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	利用者様とアセスメントの為に時間を十分に持ち、ニーズの把握後、担当者会議を入念に行い個別支援計画作成にあたっている。利用者様に納得頂けるまで見直しや修正を行っている。	はい100% ・現状を把握し個々に合った支援をして下さっている。	現状を維持していきながらさらに寄り添った支援を提供できるよう努力していく。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	個別支援計画の中にある長期目標、短期目標を達成するため、個別療育と集団療育をそれぞれの利点を活かしながら療育計画を作成している。	はい94% どちらともいえない3% わからない3% ・具体的に設定されています。	現状を維持しながら更なる業務改善に向けて工夫を図っていく。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	個々の特性に応じた療育内容の設定をし、どのような支援がその子にとって効果的であったかについてのミーティングを日頃から行い職員間で情報共有している。PDCAサイクルに則り、質の高い療育を目指している。	/	現状を維持しながら更なる業務改善に向けて工夫を図っていく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価・ご意見	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	利用者様の長期目標、短期目標に照らし合わせながら、一人一人に合った適切な教材を用意している。マンツーマンで行う個別療育と、他の利用者様と一緒に過ごす集団活動の両輪を持って適切な支援に努めている。	はい81% どちらともいえない3% わからない11%	現状を維持しながら更なる業務改善に向けて工夫を図っていく。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	スタッフ全員が発言しやすい職場環境づくりに留意し、日々のミーティングの中で利用者様が楽しめるプログラムを考えている。		現状を維持しながら更なる業務改善に向けて工夫を図っていく。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	利用者様の事業所における滞在時間やその日の体調に合わせてながら、活動に静と動のメリハリを付け、スタッフも一緒に遊過ごしたり、言葉かけをするなどして楽しく過ごせる工夫をしている。		現状を維持しながら更なる業務改善に向けて工夫を図っていく。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	近くの公園や市の施設に出かけ屋外で過ごしたり、季節のクラフトをする等変化を持たせる工夫をしている。パン作りや芋ほり等、今年度から始めた新しい活動もある。内容が偏らないようにスタッフ全員が担当出来るようにしている。	はい61% どちらともいえない19% わからない19% ・ドリル等を利用したり、作ったり、外出したり、とても楽しんでいます。・工夫されている。	現状を維持しながらさらに活動の多様性を図れるよう努めていく。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	毎朝行うミーティングで送迎計画のダブルチェックや読み合わせ、申し送り内容等の情報共有、当日の利用者様の支援における留意点や保護者の方からの情報について確認共有している。細かい業務も分担し、それぞれが責任を持って取り組んでいる。		現状を維持しながら更なる業務改善に向けて工夫を図っていく。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	当日支援終了後や次の日の朝のミーティングで利用者様について情報共有する機会を持っている。常日頃位からスタッフ間でコミュニケーションの機会を多く持ち、その都度話し合い共有を図っている。当日休みのスタッフにも情報共有ができるよう、申し送り事項を記録している。		現状を維持しながら更なる業務改善に向けて工夫を図っていく。
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	利用者様には連絡帳でその日の支援内容についての情報をお伝えしている。事業所においては利用者様の個人記録を当日中に記している。その中の懸案事項は担当者会議や日々のミーティングで共有し対策や療育内容の変更等につなげている。		現状を維持しながら更なる業務改善に向けて工夫を図っていく。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	保護者様と個別支援計画について一緒に振り返り、まだ達成できていない目標については療育内容の検討をし必要に応じて修正をし、スタッフ間で共有している。達成できた場合は新しい課題を探り療育計画を立て、継続した支援を行っている。		現状を維持しながら更なる業務改善に向けて工夫を図っていく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価・ご意見	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	相談支援事業所様のご提案に応じて、保護者様、学校関係者様を交えた担当者会議に参加し、連携に努めている。事業所以外の場や家庭でのお子様の姿を知り、療育に役立っている。		現状を維持しながら更なる業務改善に向けて工夫を図っていく。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施			
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備			
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	相談支援事業所、保護者様、学校関係者様、事業者の参加する担当者会議の中で十分な情報交換の場を頂けている。 担任の先生との面談や授業の参観なども、ニーズに応じてさせて頂いている。		現状を維持しながら更に密に連携を取れるよう工夫を図っていく。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、			
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	事業所だけでは解決できない問題が生じた場合は、相談支援事業所を始め、市の相談センターに相談し、解決のための助言や支援を頂いている。		専門機関での研修受講についての情報を集めていきたい。
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	コロナ禍ということもあり、現時点では行なっていない。	はい25% どちらともいえない6% いいえ19% わからない44% 無回答6%	コロナ禍の動向を見ながら検討をしていきたい。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	地域の方の協力の元、芋ほりに参加させていただいた。		現状を維持しながら更なる業務改善に向けて工夫を図っていく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価・ご意見	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時に説明をしている。 また、利用者様との家庭連携の電話や日頃の会話の中で随時質問に応じている。	はい92% どちらともいえない6% わからない2%  ・丁寧な説明でした。	現状を維持しながら更なる業務改善に向けて工夫を図っていく。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	契約時に書面で行うと同時に、施設案内や活動風景の見学、体験に応じ入所前に出来るだけ多くの情報を提供してご利用者様のニーズに合う事業所であるかご検討いただいている。	はい94% どちらともいえない3% わからない3%	現状を維持しながら更なる業務改善に向けて工夫を図っていく。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	面談や家庭連携の電話などでご相談に応じてはいるが特別にペアレント・トレーニングの機会を持つことはできていない。	はい36% どちらともいえない19% いいえ14% わからない31%	ペアレント・トレーニングの研修の機会があれば、保護者の方へ情報提供していく。また、情報収集に努めていく。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	連絡帳、家庭連携の電話、送迎時の申し送りなどでその日の活動の様子や共通理解すべき事柄について利用者様と随時コミュニケーションできるよう努めている。	はい81% どちらともいえない19%  ・日々の送迎時などに状況の確認が出来ている。 ・連絡ノートや送迎の際にもコミュニケーションを取っていただいている。	現状を維持していきながらさらに満足度が高まるように努力していく。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	コロナ禍で来所による相談は難しかったので、電話でご利用者様からの相談に応じている。	はい86% どちらともいえない6% いいえ3% わからない6%  ・その時々で相談に乗っていただいています。	現状を維持していきながらさらに満足度が高まるように努力していく。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	父母会等の会合は実施していない。	はい22% どちらともいえない6% いいえ39% わからない31%無回答2%  ・デイサービスには特に求めている。	個人情報の観点から望まない方もいるので、今後の検討課題としていく。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情があった場合にはスタッフ間で情報共有をし、迅速に対応した上で、今後の対応の為に記録を残し、改善を図っている。	はい61% どちらともいえない14% わからない25%	現状を維持していきながらさらに満足度が高まるように努力していく。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	誤解を防ぐために、できるだけ対面で行うことを心がけている。 また日頃からの利用者様とのコミュニケーションを大切にしている。	はい86% どちらともいえない8% わからない6%  ・十分配慮していただいています。	現状を維持していきながらさらに満足度が高まるように努力していく。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	定期的ではないが、行事等の際にはブログを更新している。ご利用者様にはブログについてこちらからお知らせしていないので、周知されていなかった。	はい28% どちらともいえない17% いいえ11% わからない44%  ・ブログの更新頻度が月数回位あると様子が分かりやすくて 助かります。	ご利用者様に周知していただくと共に、個人情報に留意しながら、定期的なブログの更新を行い、情報提供に力を入れていく。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	契約時に個人情報使用書に同意して頂き、担当者会議などの情報交換が必要な時のみ関係機関の間で個人情報を共有する了承を得ている。それ以外は個人情報流出を防ぐよう努めている。	はい86% どちらともいえない6% わからない8%	現状を維持していきながらさらに満足度が高まるように努力していく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価・ご意見	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	マニュアルについては事業所内で周知情報共有しているが、利用者様にはお伝えしていない。	はい44% どちらともいえない11% いいえ6% わからない58%	利用者様にも安心してご利用していただけるよう緊急マニュアルの周知に力を入れていく。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	風水害や地震を想定した避難訓練を実施している。	はい33% どちらともいえない6% いいえ3% わからない58%	定期的に行ってはいるが、すべてのご利用者様に行き渡っていなかったため、今後改善していく。
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	虐待防止委員会を設置している。 虐待に関する外部研修を受講し、内容をスタッフ間で共有している。また、事業所内でも研修を行い、日頃から虐待に対する理解を深める努力をしている。		現状を維持しながら、ご利用者様に安心してご利用いただけるように更に努力していく。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	身体拘束が必要と思われるご利用者様には、個別支援計画の作成時に同意を頂いたうえで、身体拘束の時間・拘束理由を記録している。		身体拘束に対しての取り決めを職員間で共有し、定期的なリマインドを行っていく。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	食物アレルギーに関して利用者様にご提出いただく。サポートブックにその記載がある。リスト化し、スタッフ間で周知徹底している。 医師からの指示等については同様にサポートブックにてご教示いただいている。		間違いが起こらないよう、変更があれば即更新し、スタッフ間で周知徹底していく。 定期的アレルギーについての研修を行い職員の意識を高める。個人情報に留意しながら随時チェックし、注意喚起できる職場環境の工夫を続けていく。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ひやりはつとがあった場合、ミーティングで情報共有し、事故を未然に防ぐための対策を迅速に講じている。		現状を維持しながら更なる業務改善に向けて工夫を図っていく。
満足度	1 子どもは通所を楽しみにしているか。		はい81% どちらともいえない14% いいえ6% ・とても楽しみにしています。	
	2 事業の運営支援に満足しているか。		はい83% どちらともいえない14% いいえ3% ・親子ともども満足しています。 ・いろいろ相談に乗っていただき感謝しています。	